令和7年度JAいわみざわ地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

(1) 地域の作物作付けの現状

当地域の耕地面積は18,000haにおよび、うち交付対象水田面積は14,502haと耕地面積の約80%を占めている。地域のほぼ中央を縦断する北海道縦貫自動車道以北は坦々とした平地が広がり、豊富な水資源を活かしながら稲作・畑作・露地野菜を中心に大規模土地利用型農業を展開している。また、自動車道以南東は丘陵地から山林地帯へと広がり、水稲を主力に施設園芸や果樹を組み入れた複合経営を展開している。令和6年度の転作面積10,484ha(転作率72%)のうち麦・大豆、地域重点作物(子実用とうもろこし・てん菜・そば・なたね)及び水田活用米穀で約87%を占めている一方、野菜・花卉は約7%にとどまり、その他は牧草・小豆・地力増進作物等となっている。

(2) 地域が抱える課題

農地の担い手への集積率は90%を超え、新たに策定された「地域計画」において地域の合意形成により示された担い手(農業を担う者)は明確になっている。一方、高齢化・後継者不足等により、農家戸数は年々減少の一途を辿っており、特に20ha未満の中小規模農家の戸数減少が著しい。経営体の大規模化により、労働力不足が顕著になることや野菜の作付け中止が懸念され、水田機能維持と併せた輪作体系や作期競合回避技術の確立、野菜産地としての生産体制づくりが喫緊の課題となっている。また、気候変動に伴う災害への備えや排水不良による湿害対策等生産基盤となる農地の地域事情に合わせた整備が求められている。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に 向けた産地としての取組方針・目標

当地域では、収益性の高い水田農業経営への転換を図るため、産地交付金を活用しながら、主食用米と比較して面積当たりの所得が高い野菜等の高収益作物や、時間当たりの所得が高い子実用とうもろこしの作付け拡大を図っているが、水田(交付対象)作に占める同作物の作付率は約7%と低い状況となっている。

今後は、水田をフル活用しながら、多様なニーズに対応した競争力の高い農産物の計画的かつ安定的な生産・供給が可能な産地づくりを一層進めるとともに、「水田農業高収益化推進計画の策定について」(令和2年4月1日付け元生産第2167号・元農振第3757号・元政統第2085号農林水産省生産局長・農村振興局長・政策統括官連名通知)に基づく産地推進計画の策定と合せて関係機関・団体等の連携による推進体制を構築し、規模拡大等に対応する集荷施設の再編・整備や基盤整備による排水対策を進めつつ、高収益作物や子実用とうもろこしの導入などに向けて一層の推進を図り、収益性の高い水田農業経営への転換を目指す。

高収益作物の導入にあたっては、需要が増加している野菜の安定生産や高品質化、消費者ニーズに対応した多様な品目の作付けなどによる産地ブランド力の向上、地域に適応した品種の選定・普及及び栽培技術の改善、スマート農業等の省力・低コスト生産技術の導入、出荷期間・販売地域の拡大など様々な取組みを通じて、特色ある産地づくりや収益力の向上による経営の安定化を進める。

子実用とうもろこしについては、販売先との連携を基本に需要に応じた作付けを進めるとともに、輪作作物としての活用を通じて生産性の向上を図る。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

水田転作の交付金に依存した経営が多い中で、転作作物については、高品質化、収量向上、低コスト化が求められており、そのためには、大区画化や用排水分離などの圃場条件の整備を進め生産力を高めていくことが重要となっている。

当地域では、田畑輪換方式の特性を活かし、空知型輪作による作付けのローテーションを促し、水田利用時の湛水による土壌病害虫発生の軽減や雑草発生の抑制、また、土壌物理性改善効果によって水稲と転作作物の双方の生産力を高めるための取組みを推進している。

一方で、畑地化の取組みを進めるに当たっては、新たに策定された「地域計画」により描かれた目標地図や担い手の農業経営改善計画などに基づく効率的な土地利用に配慮するとともに、地域の実情に応じた作物の本作化や計画的な農地の集積・集約化が図られるかなど、関係機関・団体と連携のもと、地域内・関係者間の合意形成を的確に行いつつ、畑地化への支援内容や基盤整備等に関する情報提供・助言を行う。

4 作物ごとの取組方針等

14,502haの交付対象水田を有する当地域が将来にわたって米主産地として生き残るためには、農地中間管理事業等を活用した農地集積により大規模化を進め、水張り面積を確保するとともに、用途別生産・販売の強化に取り組み、多様なニーズに対応した売れる米作りをより強力に推進する必要がある。一方、産地交付金を有効に活用して国内自給率の向上に資する麦・大豆の収量・品質の向上を図るとともに、基幹作物でJAブランドでもある玉葱、更にはJA振興作物となる白菜・南瓜・キャベツ・長葱・胡瓜・メロン・いちご・花卉の野菜・花卉生産の維持・拡大を図る。

(1) 主食用米

米の消費減少が進み、ますます産地間競争が激化する中で水張り面積を確保するためには、消費者・実需者に買ってもらえる米作りと販売力強化が重要であり、多様な消費者ニーズに対応するため、ニーズに合った米を均一な一定のロットで確保する。また、一定の栽培基準を設けたこだわり米についても作付けを拡大し、クリーン農業のイメージ強化とともに差別化を推進する。

(2) 備蓄米

水張り面積確保の観点から、需要に応じた柔軟な対応に努める。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米・イ 米粉用米・エ WCS用稲・オ 加工用米

主食用米の需要が減少する中、需要の拡大が見込まれるWCS用稲・加工用米等の生産を後押しする。飼料用米は、専用品種を主体に直播などコスト削減を図りつつ、国からの産地交付金を最大限活用して令和8年度に一定程度の面積を確保する。

ウ 新市場開拓用米

主食用米の国内需要が減少する中、内外のコメの新市場開拓に取組み、新市場開拓用米の作付け拡大を目指しつつ、水張り確保の観点からも令和8年度に一定程度の面積を確保する。

(4) 麦、大豆、飼料作物(子実用とうもろこしを含む)

農地集積が進んでいる現状においても主要な転作作物としての位置付けは変わらず、今後もこれら作物の収量・品質の一層の向上を図る。麦・大豆については、連作障害や春小麦の生産性及び大豆の雑草対策が課題となるため、水稲を組み入れた空知型輪作体系の確立や畑作物輪作の推進と併せて、技術が確立されつつある春小麦の初冬播きや大豆の狭畦栽培の拡大により、生産性の安定化に努める。また、子実用とうもろこしについては、その高い労働生産性と深根性及び豊富な収穫残渣の発生による有機物の補給が可能となるなど土壌改良効果も期待できるため、食料自給率の向上に資する飼料生産とともに、有用な輪作作物として作付面積の拡大を図る。

(5) そば、なたね

麦・大豆の作付けが不向きな北海道縦貫自動車道以南東の地域では、そばが転作作物の 重要な位置付けとなっている。暗渠排水等土壌改良を進めながら、作付面積を維持す る。また、なたねについては、輪作体系の一環として作付面積を確保する。

(6) 地力增進作物

空知管内は酪農・肉牛農家の割合が低く、堆肥の入手が困難である上に作業機械を所有している割合も低い。そのため、土づくりに必須な有機物の導入を地力増進作物(イネ科、アブラナ科、キク科、マメ科の地力増進作物として、えん麦、えん麦野生種、ソルガム、緑肥デントコーン、シロカラシ、チャガラシ、キカラシ、ひまわり、緑肥用大豆、ヘアリーベッチ、アカクローバー、クリムソンクローバ)によって行い、土壌物理性の改善により、高収益作物等の収量・品質の高位平準化を目指す。

(7) 高収益作物(園芸作物等)

米とともにJAの基幹作物である玉葱は、収量・品質の向上を目指し、輪作による地力や透排水性の改善によりブランド力の再構築を図る。また、JAの振興作物である白菜・南瓜・キャベツ・長葱・胡瓜・メロン・いちご・花卉は、地域性・経営規模・労働力調整等に配慮しながら、各品目の利点を活かした作付け推進で産地化に努める。その他の野菜、トウキ等においても生産者所得の向上に向けて作付け推進を図る。

5 作物ごとの作付予定面積等

the thin 生	前年度の作	付面積	当年度の作付	予定面積等	令和8年度の作作	付目標面積等
作物等	(ha)	うち 二毛作	(ha)	うち 二毛作	(ha)	うち 二毛作
主食用米	4, 013. 3		4, 210. 0		4, 330. 0	
備蓄米	29. 4		0.0		0.0	
飼料用米	909. 8		430.0		400.0	
米粉用米	0. 9		0.0		0.0	
新市場開拓米	277. 5		345. 0		360. 0	
WCS用稲	279. 6		330.0		350. 0	
加工用米	429. 9		750. 0		780. 0	
小麦	4, 624. 8		4, 520. 0		4, 440. 0	
大豆	1, 873. 3		1, 825. 0		1, 760. 0	
飼料作物(牧草)	162. 8		160. 0		155. 0	
子実用とうもろこし	247. 0		255. 0		260. 0	
そば	197. 6	51.8	185. 0	57. 0	165. 0	45. 0
なたね	92. 9		100. 0		110.0	
地力増進作物	377. 6	85. 8	432. 0	142. 0	450.0	150. 0
高収益作物	(803. 5)	(30. 7)	(824. 0)	(32. 0)	(846. 0)	(35. 0)
白菜	66. 9	29. 2	72. 5	30. 0	78. 0	33. 0
南瓜	93. 7		100.0		105. 0	
キャベツ	15. 0	1. 5	20. 0	2. 0	22. 0	2. 0
長葱	13. 9		14. 0		17. 5	
胡 瓜	2. 8		3. 5		4. 0	
いちご	1. 5		1.5		1.7	
メロン	4. 1		4. 5		4. 8	
花卉	31.8		33. 0		35. 0	
たまねぎ	458. 4		460. 0		460. 0	
その他の高収益作物	115. 4		115. 0		118. 0	
その他	350. 5		350. 1		326. 1	
てん菜	157. 8		170. 0		180. 0	
小 豆	67. 2		40. 0		45. 0	
その他	125. 5		140. 1		101.1	
畑地化	175. 4		32. 1		111. 4	

6	22.24	狭に向	けたる	48 Th 71	8
0	萨温 疗	ᄣᄉ	リワ たね	は私なり	· 11 (15)

*			_				
=	对象作物	使 途 名	目標	前年度	(実績)	B	裸 値
*	秋小麦		作付面積	(令和 6 年度)	6, 902. 9 ha	(令和8年度)	6, 640. 0 ha
			単収 秋小麦	(令和6年度)	541 kg/10a	(令和 8 年度)	550 kg/10a
	春小麦	空知型輪作体系	単収 春小麦	(令和 6 年度)	430 kg/10a	(令和 8 年度)	400 kg/10a
1	大 豆	確立加算 (前作:水稲)	単収 大 豆	(令和 6 年度)	302 kg/10a	(令和 8 年度)	310 kg/10a
	てん菜	(BOTE : MAIN)	単収 てん菜	(令和 6 年度)	8, 231 kg/10a	(令和 8 年度)	7, 200 kg/10a
	子実用とうもろこし		単収 チカルとうもろこし	(令和 6 年度)	1,070 kg/10a	(令和 8 年度)	900 kg/10a
2	春小麦	春小麦の初冬播き	作付面積	(令和 6 年度)	183. 2 ha	(令和 8 年度)	180. 0 ha
•	AL-1.5C	栽培加算	単収(春小麦全体)	(令和 6 年度)	430 kg/10a	(令和 8 年度)	400 kg/10a
3	大豆	大豆狭畦栽培	作付面積	(令和 6 年度)	469.1 ha	(令和 8 年度)	480. 0 ha
		推進加算	単収 (大豆全体)	(令和 6 年度)	302 kg/10a	(令和 8 年度)	310 kg/10a
	来・ナ軍・カルカ・アム帝・ス	烟作物輪作推進加算	取組面積	(令和 6 年度)	2, 797. 3 ha	(令和 8 年度)	2, 820. 0 ha
4	妻・大豆・なたね・てん葉・子 実用とうもろこし・小豆・玉 葱・別銀2-2に定める作物	(前作・当年作: 対象作物による輪作)	単収 代表的な作物				
	T MAL LICEWOILE	対象作物による物作)	秋小麦	(令和 6 年度)	541 kg/10a	(令和 8 年度)	550 kg/10a
5	玉蔥	重点基幹作物助成	作付面積	(令和 6 年度)	458. 4 ha	(令和 8 年度)	460. 0 ha
Ů		(玉蔥)	TF19 JUL 194	(中和 0 千度)	400. 4 Ha	(可和 0 年度/	400. U IIA
6	二毛作のみ	地力增進作物	作付面積	(令和 6 年度)	85.8 ha	(令和 8 年度)	150. 0 ha
	軸作体系確立作物 (玉章後作祭記)	推進助成 (玉章後作祭恩:二毛作)	TE TO PACE	(1)40 - 100	00.0 114	(144 0 +20	100.0 114
_	子実用	地域重点作物	作付面積	(令和 6 年度)	247.0 ha	(令和 8 年度)	260. 0 ha
7	とうもろこし	推進助成 (子実用とうもろこし)	単収	(令和 6 年度)	1,070 kg/10a	(令和 8 年度)	900 kg/10a
		地域重点作物			157.8 ha		
8	てん菜	推進助成	作付面積	(令和 6 年度)		(令和 8 年度)	180. 0 ha
		(てん菜)	単収	(令和 6 年度)	8, 231 kg/10a	(令和 8 年度)	7, 200 kg/10a
	そば	地域重点作物	作付面積	(令和 6 年度)	290. 5 ha	(令和 8 年度)	275. 0 ha
9	なたね	推進助成 (そば・なたね)	単収そば	(令和 6 年度)	80.0 kg/10a	(令和8年度)	73.0 kg/10a
4			単収 なたね	(令和 6 年度)	343.0 kg/10a	(令和 8 年度)	390.0 kg/10a
10	小 豆	輪作体系確立作物 推進助成	作付面積	(令和 6 年度)	67.2 ha	(令和 8 年度)	45.0 ha
		(小豆)	単収	(令和 6 年度)	150 kg/10a	(令和 8 年度)	240 kg/10a
٦		単収実積加算	作付面積	(令和 6 年度)	3, 403. 2 ha	(令和 8 年度)	3, 270. 0 ha
11	秋小麦	(秋小麦)	単収(ランク1)	(令和 6 年度)	600 kg/10a	(令和 8 年度)	600 kg/10a
		ランク1	生産者数割合	(令和 6 年度)	76.0 %	(令和 8 年度)	80.0 %
		単収実績加算	作付面積	(令和 6 年度)	3, 403. 2 ha	(令和 8 年度)	3, 270. 0 ha
12	秋小麦	(秋小麦)	単収(ランク2)	(令和 6 年度)	451 kg/10a	(令和 8 年度)	430 kg/10a
		ランク2	生産者数割合	(令和 6 年度)	17.0 %	(令和 8 年度)	10.0 %
		単収実績加算	作付面積	(令和6年度)	1, 221. 6 ha	(令和8年度)	1, 170. 0 ha
13	春小麦	(春小麦) ランク1	単収(ランク1) 生産者教割合	(令和6年度)	462 kg/10a	(令和8年度)	450 kg/10a
_		,,,,		(令和 6 年度)	93.0 %	(令和8年度)	85.0 %
14	春小麦	単収実績加算	作付面積	(令和6年度)	1, 221. 6 ha	(令和8年度)	1, 170. 0 ha
'"	香小皮	(春小麦) ランク2	単収(ランク2) 生産者数割合	(令和 6 年度) (令和 6 年度)	275 kg/10a 3.0 %	(令和8年度)	300 kg/10a 8.0 %
				(令和6年度)	1, 873. 3 ha	(令和8年度)	1, 760. 0 ha
15	大豆	単収実積加算 (大豆)	作付面積 単収(ランク1)	(令和6年度)	352 kg/10a	(令和8年度)	320 kg/10a
	~ -	ラング	生産者教割合	(令和 6 年度)	76.0 %	(令和8年度)	70.0 %
		単収実績加算	作付面積	(令和6年度)	1, 873. 3 ha	(令和8年度)	1, 760. 0 ha
16	大 豆	(大豆)	単収(ランク2)	(令和 6 年度)	248 kg/10a	(令和 8 年度)	250 kg/10a
		ランク2	生産者教割合	(令和 6 年度)	20.0 %	(令和 8 年度)	25.0 %
		圃場整備後の	45.41.	/A A	205.0.1	(0-0	242.01
17	地力增進作物	作物安定化助成 (地力增進作物)	作付面積	(令和 6 年度)	235.9 ha	(令和 8 年度)	210.0 ha
_		飼料作物	取組面積	(令和 6 年度)	201. 4 ha	(令和 8 年度)	280. 0 ha
18	飼料作物	団地化加算	団地化率	(令和 6 年度)	42.7 %	(令和 8 年度)	65.0 %
19	飼料用米	耕畜連携	作付面積	(令和 6 年度)	909.8 ha	(令和 8 年度)	400.0 ha
19	わら専用稲	(わら利用助成)	取組面積	(令和 6 年度)	191.5 ha	(令和 8 年度)	230. 0 ha
20	飼料作物	耕畜連携	作付面積	(令和 6 年度)	442.4 ha	(令和 8 年度)	505.0 ha
	WCS用權	(資源循環助成)	取組面積	(令和 6 年度)	242. 2 ha	(令和 8 年度)	255. 0 ha
21	自給飼料更新作物 2002-17まある銀貨作物機会	自給飼料更新作物助成	作付面積	(令和 6 年度)	0.5 ha	(令和 8 年度)	80. 0 ha
•"	別級2-1で定める側斜存物機良 品種の作材を行ったもの	_{中和时代} 史制作物划成	単収	(令和 6 年度)	2,831 kg/10a	(令和 8 年度)	3,800 kg/10a
	(露地蒙培)	地域振興作物助成	作付面積	(令和 6 年度)	199.1 ha	(令和 8 年度)	233. 0 ha
22	白菓・南瓜・キャペツ・ 長童・胡瓜・いちご・メ						
	ロン・花卉	(露地推進)	取組面積	(令和 6 年度)	153.3 ha	(令和 8 年度)	180.0 ha
٦	(トン科療培)	地域振興作物助成	作付面積	(令和 6 年度)	199.1 ha	(令和 8 年度)	233.0 ha
23	白葉・南瓜・キャベツ・ 長竜・胡瓜・いちご・メ						
	ロン・花卉	(トンネル推進)	取組面積	(令和 6 年度)	17.6 ha	(令和 8 年度)	20. 0 ha
	(かえ栽培)	地域振興作物助成	作付面積	(令和 6 年度)	199.1 ha	(令和 8 年度)	233.0 ha
24	白葉・南瓜・キャペツ・ 長蔵・胡瓜・いちご・メ	(ハウス推進)	取組面積		28. 2 ha	(令和 8 年度)	33. 0 ha
4	ロン・花卉	いいの正価!	小和周节	(令和 6 年度)	20. Z 118	(卫和 0 平度)	oo. u na
25	二毛作のみ 麦後白菜	地域振興作物助成 (小表表自集・計べて: 二名作)	作付面積	(令和 6 年度)	30.7 ha	(令和 8 年度)	35.0 ha
	麦後キャペツ					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
26	(露地栽培) 別紙 2-2 で	基幹作物助成	作付面積	(令和 6 年度)	115.4 ha	(令和 8 年度)	118.0 ha
•	定める作物	(露地推進)	取組面積	(令和 6 年度)	88.1 ha	(令和 8 年度)	98. 0 ha
	(トンネル栽培)	基幹作物助成	作付面積	(令和 6 年度)	115.4 ha	(令和 8 年度)	118.0 ha
27	別紙2-2で 定める作物	(トンネル推進)	取組面積	(令和 6 年度)	9.7 ha	(令和 8 年度)	9. 8 ha
	(かな栽培) 別紙2-2で	基幹作物助成	作付面積	(令和6年度)	115.4 ha	(令和 8 年度)	118. 0 ha
28	別紙2-2で 定める作物			(令和 6 年度)	8.4 ha	(令和8年度)	10. 2 ha
-		(パウス推進) 地域電点作物	取組面積	(1941 U 47-1952)	0.4 118	(1741年 年度)	10. Z NB
29	そ ぱ なたね	地域重点作物 推進加算	作付面積	(令和 6 年度)	238.7 ha	(令和 8 年度)	230. 0 ha
_	७ /टस्ट	(そば・なたね)					
30	新市場開拓用米	新市場開拓用米	取組面積	(令和 6 年度)	26.1 ha	(令和 8 年度)	10. 0 ha
		新市場開拓用米の	作付面積	(令和 6 年度)	60. 5 ha	(令和 8 年度)	120. 0 ha
	新市場開拓用米	複數年契約加算					
31	AN THE DISTRICT THE PARTY OF TH		取組面積	(令和 6 年度)	55.8 ha	(令和 8 年度)	80. 0 ha
31	With the bull the state of	(新規契約)	AN HE HAT THE	111111111111111111111111111111111111111			
			作付面積	(令和 6 年度)	291.8 ha	(令和 8 年度)	300. 0 ha
31	地力増進作物((4年・アナラモ・サギ・マギ)	・	作付面積		291. 8 ha 256. 8 ha	(令和 8 年度) (令和 8 年度)	300. 0 ha 28. 1 ha

必要に応じて、面積に加え、当該取銀によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。 ※ 目標期間は3年以内として下さい。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:北海道

協議会名:JAいわみざわ地域農業再生協議会

2 参小・東の初を描き数別を認知 1 1.500 あった の参考の効能 3 大豆の味噌が見機を放好 1 1.500 大豆 大豆 へんかって人気・予算用とりものにした。 中部では残ち物に関している。 中部では残ちがしている。 中部では残ちがしている。 中部ではなられている。 中部ではなられている。 中部ではなられている。 中部ではなられている。 中部ではなられている。 中部ではなられている。 中部ではなられている。 中部ではなられている。 中部ではないる。 中ではないる。 中ではないるいる。 中ではないるいる。 中ではないるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいる	理 番		期等		-	
大豆の枝畦栽培用金加算	1	空知型輪作体系確立加算(前作:水稲)	1	1,600	秋小麦・春小麦・大豆・てん菜・子実用とうもろこし	水稲(前作)との輪作体系取組
## ##	2	春小麦の初冬播き栽培推進加算	1	1,500	春小麦	初冬播きの取組
	3	大豆の狭畦栽培推進加算	1	1,500	大豆	畦幅を概ね30cm程度
現場の情報性報知版	4		1	1,400		(「大豆↔小豆」「なたね⇔アプラナ科野菜」「個票別紙2-2その他作物一覧表
6 (重要条件機能: 三折り) 2 3,900 重要数件機能 特別機能にじて支援、適切な助容。 7 Pが返生点件管理を追加がで人業の 1 23,300 子実用とうもろこし 付行機能でして支援、適切な助容。 8 地域重点性管理を追加がで人業の 1 27,200 て人業 付行機能にじて支援、適切な助容。 9 地域重点性管理を追加がくんない 1.2 11,600 そばっなたね 特行機能にじて支援、表切な助容 10 特性条構造工作物推進助成(ペインなわえ)シック? 1 1,500 小工 付け開催にして支援、表切な助物等 12 単収実機加算(多小麦)シック? 1 1,200 秋小素 単収の地域に上りの配差派がして支援 13 単収実機加算(多小麦)シック? 1 1,200 参小表 単収定地域上がして支援 14 単収実機加算(多小麦)シック? 1 1,200 大豆 単収定地域としたりて支援 15 単収実機加算(多・大変)シック? 1 1,200 大豆 単収定地域としたりて支援 16 単収実機加算(大 豆)シック? 1 1,200 大豆 地域と関係を持てもしたして支援 18 角質料や低速後の作物を定化した(生力 1 1,200 大豆 地域と関係を持てが、たりで支援 19 財産業務の作物を定とした(生力・生力・生力・生力・生力・生力・生力・生力・生力・生力・生力・生力・生力・生	5	重点基幹作物助成(玉葱)	1	36,500	玉葱	作付面積に応じて支援
	6		2	3,900	玉葱後作緑肥	作付面積に応じて支援。鋤込み実施。
特別議議の表現の表現を表現しています。	7		1	23,300	子実用とうもろこし	作付面積に応じて支援。適切な防除等。
地域集画作物性組助版(か立) 1 31,000	8	地域重点作物推進助成(てん菜)	1	27,200	てん菜	作付面積に応じて支援。適切な防除等
単収実機加算(秋小麦)シウ2	9	地域重点作物推進助成(そば・なたね)	1.2	11,600	そば・なたね	
単収実額加算(秋小東)ラック2	10	輪作体系確立作物推進助成(小豆)	1	31,000	小豆	作付面積に応じて支援。適切な防除等
13 単収実積加算(条小麦)ラック1 1 1,500 春小麦 単収支積加算(条小麦)ラック2 1 1,200 春小麦 単収支積加算(条小麦)ラック2 1 1,200 春小麦 単収支積加算(条小麦)ラック2 1 1,200 大豆 単収支積加算(大豆)ラック1 1 1,500 大豆 単収支積加算(大豆)ラック2 1 1,200 大豆 単収支積加算(大豆)テンク2 1 1,200 大豆 単収支積加算(大豆)トンク2 1 1,200 大豆 単収支援加算(物) 上280kg大混60	11	単収実績加算(秋小麦)ランク1	1	1,500	秋小麦	単収500kg以上に対して支援
単収実精加質(各・表)ラック2	12	単収実績加算(秋小麦)ランク2	1	1,200	秋小麦	単収400kg以上500kg未満に対して支援
1	13	単収実績加算(春小麦)ランク1	1	1,500	春小麦	単収300kg以上に対して支援
日本の大田原(地方) 1 1,200 大豆 単収180k以上280kg未満に対して支援 単収180k以上280kg未満に対して支援 単収180k以上280kg未満に対して支援 単収180k以上280kg未満に対して支援 単収180k以上280kg未満に対して支援 単収240kg以上280kg未満に対して支援 単収240kg以上280kg 単収240kg以上280kg 単収240kg以上280kg 単収240kg 単	14	単収実績加算(春小麦)ランク2	1	1,200	春小麦	単収250kg以上300kg未満に対して支援
1	15	単収実績加算(大 豆)ランク1	1	1,500	大豆	単収280kg以上に対して支援
18	16	単収実績加算(大 豆)ランク2	1	1,200	大豆	単収180kg以上280kg未満に対して支援
別報	17	圃場整備後の作物安定化助成(地力増進作物)	1	19,300	地力增進作物	圃場整備対象圃場への作付け・鋤き込みに対して支援
19 耕畜連携(わら村用助成) 3 10,000 飼料用米・わら専用福 別紙1の取組を1項目以上実施 20 耕畜連携(資源循環助成) 3 10,000 飼料作物・WCS用福(別表) 助成対象作物を有畜農家に供給し、堆肥の適元を受ける取組に支援 21 自給飼料更新作物助成 1 11,600 自給飼料更新作物 例料作物優良品種(別紙2-1) 作付面積に応じて支援。排水対策等。播種による更新時のみ。 22 地域振興作物助成(路地推進) 1 55,100 自菜 南瓜・+ャ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18	飼料作物団地化加算	1	3,900	飼料作物	飼料作物を作付し、団地化要件を満たす場合に支援
21 自給飼料更新作物助成 1 11,600 自給飼料更新作物 飼料作物優良品種(別紙2-1) 作付面積に応じて支援。排水対策等。掃種による更新時のみ。 22 地域振興作物助成(露地推進) 1 55,100 白菜・南瓜・ヤベ・ラ悪・ 胡瓜・いちご・カル・花卉 作付面積に応じて支援。 23 地域振興作物助成(トンネル推進) 1 59,200 白菜・南瓜・ヤベ・フ長葱・ 胡瓜・いちご・カル・花卉 作付面積に応じて支援。 24 地域振興作物助成(ハウス推進) 1 63,200 白菜・南瓜・ヤベ・フ・長葱・ 村瓜・いちご・カル・花卉 作付面積に応じて支援。 25 地域振興作物助成(腐地推進) 2 15,600 麦後白菜・麦後キャベツ 作付面積に応じて支援。 26 基幹作物助成(露地推進) 1 35,700 別紙2-2のとおり 作付面積に応じて支援。 27 基幹作物助成(トンネル推進) 1 39,600 別紙2-2のとおり 作付面積に応じて支援。 28 基幹作物助成(ハウス推進) 1 43,600 別紙2-2のとおり 作付面積に応じて支援。 29 地域重点作物推進加算(そば、なたね) 1 20,000 そば、なたね 作付面積に応じて支援。 30 新市場開拓用米 1 20,000 新市場開拓用米 時内側接体物の複数年契約加算(新規契約) 1 10,000 新市場開拓用米 助成対象作物の複数年契約(1年目)に応じて支援。 31 新市場開拓用水の複数年契約加算(新規契約) 1 20,000 新市場開拓用米 サルり機進体物の複数作物の複数作物のが付加速化的のが付加速化	19	耕畜連携(わら利用助成)	3	10,000	飼料用米・わら専用稲	
1	20	耕畜連携(資源循環助成)	3	10,000	飼料作物・WCS用稲(別表)	助成対象作物を有畜農家に供給し、堆肥の還元を受ける取組に支援
22 地域振興作物助成(第地推進) 1 55,100 胡瓜・いちご・メロン・花卉 作付面積に応じて支援。	21	自給飼料更新作物助成	1	11,600		作付面積に応じて支援。排水対策等。播種による更新時のみ。
1 59,200 胡瓜、いちご、如、花卉 作行面積に応じて支援。	22	地域振興作物助成(露地推進)	1	55,100		作付面積に応じて支援。
24 地域振興作物助成(ハウス推進) 1 63,200 胡瓜・いちご・刈り・花卉 作付面積に応じて支援。 25 地域振興作物助成(ハウス推進) 2 15,600 麦後白菜・麦後キャベツ 作付面積に応じて支援。 26 基幹作物助成(露地推進) 1 35,700 別紙2-2のとおり 作付面積に応じて支援。 27 基幹作物助成(トンネル推進) 1 39,600 別紙2-2のとおり 作付面積に応じて支援。 28 基幹作物助成(ハウス推進) 1 43,600 別紙2-2のとおり 作付面積に応じて支援。 29 地域重点作物推進加算(そば・なたね) 1 20,000 そば・なたね 作付面積に応じて支援。 30 新市場開拓用米 1 20,000 新市場開拓用米 作付面積に応じて支援。 31 新市場開拓用米の複数年契約加算(新規契約) 1 10,000 新市場開拓用米 助成対象作物の複数年契約(1年目)に応じて支援 32 地力機進作物の作付 1 20,000 地力機進作物 上作日を行う地力機進作物の作付面積に応じて支援	23	地域振興作物助成(トンネル推進)	1	59,200		作付面積に応じて支援。
25 (小麦後作白菜・キャ、ツ: 二毛作) 2 15,600 麦後白菜・麦後キャペツ 作付面積に応じて支援 26 基幹作物助成(露地推進) 1 35,700 別紙2-2のとおり 作付面積に応じて支援。 27 基幹作物助成(トンネル推進) 1 39,600 別紙2-2のとおり 作付面積に応じて支援。 28 基幹作物助成(ハウス推進) 1 43,600 別紙2-2のとおり 作付面積に応じて支援。 29 地域重点作物推進加算(そば・なたね) 1 20,000 そば・なたね 作付面積に応じて支援。 30 新市場開拓用米 1 20,000 新市場開拓用米 作付面積に応じて支援。 31 新市場開拓用米の複数年契約加算(新規契約) 1 10,000 新市場開拓用米 助成対象作物の複数年契約(1年目)に応じて支援 32 地力機進作物の作付 1 20,000 地力機進作物の作付面積に応じて支援	24	地域振興作物助成(ハウス推進)	1	63,200		作付面積に応じて支援。
27 基幹作物助成(トンネル推進) 1 39,600 別紙2-2のとおり 作付面積に応じて支援。 28 基幹作物助成(ハウス推進) 1 43,600 別紙2-2のとおり 作付面積に応じて支援。 29 地域重点作物推進加算(そば・なたね) 1 20,000 そば・なたね 作付面積に応じて支援。 30 新市場開拓用米 1 20,000 新市場開拓用米 作付面積に応じて支援。 31 新市場開拓用米の複数年契約加算(新規契約) 1 10,000 新市場開拓用米 助成対象作物の複数年契約(1年目)に応じて支援 32 地力機進作物の作付 1 20,000 地力機進作物の作付 上作日本行る地力機進作物の作付面積に応じて支援	25		2	15,600	麦後白菜・麦後キャベツ	作付面積に応じて支援
28 基幹作物助成(ハウス推進) 1 43,600 別紙2-2のとおり 作付面積に応じて支援。 29 地域重点作物推進加算(そば・なたね) 1 20,000 そば・なたね 作付面積に応じて支援。 30 新市場開拓用米 1 20,000 新市場開拓用米 作付面積に応じて支援。 31 新市場開拓用米の複数年契約加算(新規契約) 1 10,000 新市場開拓用米 助成対象作物の複数年契約(1年目)に応じて支援 32 地力増進作物の作付 1 20,000 地力増進作物の作付 上作日を行る地力増進作物の作付面積に応じて支援	26	基幹作物助成(露地推進)	1	35,700	別紙2-2のとおり	作付面積に応じて支援。
29 地域重点作物推進加算(そば・なたね) 1 20,000 そば・なたね 作付面積に応じて支援。 30 新市場開拓用米 1 20,000 新市場開拓用米 作付面積に応じて支援。 31 新市場開拓用米の複数年契約加算(新規契約) 1 10,000 新市場開拓用米 助成対象作物の複数年契約(1年目)に応じて支援 32 地力増進作物の作付 1 20,000 地力増進作物の作付 上作日を行う地力増進作物の作付所経に応じて支援	27	基幹作物助成(トンネル推進)	1	39,600	別紙2-2のとおり	作付面積に応じて支援。
30 新市場開拓用米 1 20,000 新市場開拓用米 作付面積に応じて支援。 31 新市場開拓用米の複数年契約加算(新規契約) 1 10,000 新市場開拓用米 助成対象作物の複数年契約(1年目)に応じて支援 32 地力増進作物の作付 1 20,000 地力増進作物の作付 上作日を行う地力増進作物の作付所経に応じて支援	28	基幹作物助成(ハウス推進)	1	43,600	別紙2-2のとおり	作付面積に応じて支援。
31 新市場開拓用米の複数年契約加算 (新規契約) 1 10,000 新市場開拓用米 助成対象作物の複数年契約(1年目)に応じて支援 32 地力増進作物の作付 1 20,000 地力増進作物の作付 上作りを行う地力増進作物の作付面額に応じて支援	29	地域重点作物推進加算(そば・なたね)	1	20,000	そば・なたね	作付面積に応じて支援。
32 地力増進作物の作付 1 20,000 地力機進作物 上作 J を行う 地力機進作物の作付面譲に広じて支援	30	新市場開拓用米	1	20,000	新市場開拓用米	作付面積に応じて支援。
	31		1	10,000	新市場開拓用米	助成対象作物の複数年契約(1年目)に応じて支援
	32		1	20,000	地力增進作物	土作りを行う地力増進作物の作付面積に応じて支援。

^{※1} 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「○○○(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「○○○(耕畜連携)」と記入してください。 ー UFA の前点をレカシニッというに必然としか、とあれて、一 UFA では、 ただし、一名作及び精音連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。 なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「○○○(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

^{※2 「}作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。 ※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

^{※4} 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

(別表) 耕畜連携(資源循環助成) 対象作物

青刈りとうもろこし、青刈りソルガム、テオシント、スーダングラス、青刈り麦(らい麦又はえん麦を含む。またサイレージ化したものを含む。)、青刈り大豆、子実用えん麦、青刈り稲、

WCS用稲、わら専用稲、青刈りひえ、しこくびえ、オーチャードグラス、チモシー、ペレニアルライグラス、ハイブ リットライグラス、スムーズブロムグラス、トールフェスク、メドーフェスク、フェストロリウム、ケンタッキーブルーグ ラス、リードカナリーグラス、バヒアグラス、ギニアグラス、カラードギニアグラス、アルファルファ、オオクサキビ、 アカクローバ、シロクローバ、アルサイククローバ、ガレガ、ローズグラス、パラグラス、パンゴラグラス、ネピアグ ラス、セタリア、飼料用かぶ、飼料用ビート、飼料用しば

飼料作物優良品種一覧表

		区	分
	種類	草 種	品 種
1			アッケシ
2			オーロラ
3			キリタップ
4			クンプウ
5			シリウス
6			ノサップ
7		チモシー	ホクエイ
8			ホライズン
9			ホクシュウ
10			なつさかり
11	牧苗		なつちから
12	草類		ヘリオス
13	(イネ科牧草)		アルテミス
14	ネ 科		バッカス
15	牧草		ハルジマン
16	(オーチャードグラス	はるねみどり
17			ワセミドリ
18			トヨミドリ
19			フレンド
20		ペレニアルライグラス	ポコロ
21			チニタ
22		メドウフェスク	ハルサカエ
23		V 1	まきばさかえ
24		ケンタッキーブルーグ	トロイ
25		ラス	ラトー
26		トールフェスク	ホクリョウ

	区	分	
種類	草 種	品 種	
		アレス	
	アカクローバ	ナツユウ	
	/ <i>J</i> // 100 - / 1	マキミドリ	
		リョクユウ	
牧		ソーニャ	
草		タホラ	
類(シロクローバ	フィア	
(マメ科		マキバシロ	
科数		リースリング	
牧草)		リベンデル	
		ルナメイ	
		ケレス	
	7 7 - 1 7 -	ハルワカバ	
	アルファルファ	ヒサワカバ	
		マキワカバ	

基幹作物推進加算で対象とするその他作物の一覧表

			基料作物推進加 第	
	. 191	/ ·	区 分	
1	· ·	(でん粉原料		11)
2	その他作物	野菜	あさつき(千本ねぎ)	20
3			明日葉	14)
4			味美菜 ※	(2)
5			アスパラガス(グリーン・ホワイト・紫)	8
6			いんげん	23)
7			うど	4
8			うり	⑤
9			エゴマ	11)
10			えだまめ	23)
11			オクラ	1
12			カイラン ※	(2)
13			 かいわれだいこん	(2)
14			かぶ	(2)
				(2)
15				(2)
16			カンロ(アジウリ、まくわうり)	(5)
17			きのこ類	9
18			ざの _{こ類} ぎょうじゃにんにく	20
19				
20				(2)
21			くわい	6
22			ケール ※	(2)
23			ゴーヤ (にがうり)	(5)
24			こごみ	9
25			小ねぎ	20
26			ごぼう(山ごぼうを含む)	7
27			こまつな ※	(2)
28			こもちかんらん (芽キャベツ) ※	(2)
29			こんにゃく	10
30			ささげ	23)
31			さつまいも (かんしょ)	22)
32			さといも	10
33			サニーレタス	7
34			 さやいんげん	23)
35			さやえんどう	23
36			サラダ菜	7
			サンチュ	7
37			ししとう	1
38				1
39			しそ	
40			しゅんぎく(菊菜)	7
41			じゅんさい	18
42			しょうが	12
43			食用キク	7
44			食用ハーブ	
45			食用花(エディブルフラワー)	
46			食用ゆり(ゆりね)	25)
47			シロウリ	⑤
48			しろ菜 ※	(2)
49			スイートコーン(八列とうもろこしを含む)	3
50			すいか (マダーボールを含む)	⑤
51			ズッキーニ	⑤
52			スナップエンドウ	23
			せり	14)
53			セルリー	14)
54			ぜんまい	(15)
55			ヒルまい	(13)

		区 分	
56		そらまめ	23
57		ソルトリーフ	(19)
58		タアサイ	* 2
59		だいこん	* 2
60		大根菜(すぐりな)	* 2
61		たいな	* 2
62		チコリ	7
63		ちんげんさい	* 2
64		テンダーポール (花ニラ)	20
65		とうがらし (なんばん)	1
66		冬瓜	5
67		トマト	17
68		なす	17
69		なた豆	23)
70		菜花	* 2
71		にら	20
72		にんじん	(14)
73		にんにく	20
74		にんにくの芽	20
75		野沢菜	* 2
76		パセリ	(14)
77		花みょうが	(12)
78		パプリカ	17
79		はまぼうふう	(14)
80		ビーツ	20
81		ピーマン	1
82		広島菜	* 2
83		ふき	7
84		ブロッコリー	* 2
85		ベビーリーフ	7
86		ほうれんそう	21)
87		実えんどう(グリーンピース)	23)
88		みずな	* 2
89		みつば	14)
90		ミニトマト	17
91		みぶ菜	* 2
92		みょうが	12
93		モロヘイヤ	1
94		ヤーコン	7
95		やまのいも (長芋・大和芋)	24)
96		落花生	23
97		らっきょう	20
98		ラディッシュ	* 2
99		リーキ(ポワロ)	20
100		リーフレタス	7
101		ルッコラ	* 2
102		ルバーブ	16
103		レタス	7
104		レッドキャベツ	* 2
105		れんこん	(13)
106		わさび(水・畑・山わさび)	* 2
107		薬草(トウキ)	14

1	アオイ科
2	アブラナ科
3	イネ科
4	ウコギ科
5	ウリ科
6	オモダカ科
7	キク科
8	キジカクシ科
9	コウヤワラビ科
10	サトイモ科
11)	シソ科
(12)	ショウガ科
(13)	スイレン科
(14)	セリ科
(15)	ゼンマイ科
16)	タデ科
11)	ナス科
(18)	ハゴロモモ科
(19)	ハマミズナ科
20	ヒガンバナ科
(21)	ヒユ科
(22)	ヒルガオ科
23)	マメ科
24)	ヤマノイモ科
25	ユリ科

※はアブラナ科野菜